

全国の現場の声（大衆討議）

-魅力ある職場・労働条件に向けて-

令和4年度労働協約改定要求は、外航、大型カーフェリー・旅客船、内航二団体、全内航、港湾部門の「船員しんぶん」号外を発行、水産部門などは各支部で要求案の組合ニュースを発行し、1月5日から2月17日までの大衆討議期間に付し、現場組合員の意見集約を行った。全国の現場の声をダイジェストした

-中・四国地方支部管内-

【旅客船部門】

- ▽船員職業の魅力をも高めるため、厳しい状況であるが労働協約改定交渉を頑張ってもらいたい
- ▽ベースアップは重要であるが、年間臨時手当も昨年以上を目指して頑張ってもらいたい

【港湾部門】

- ▽船員不足が続くなか、船員のもっとも高めるためにも改定が必要である
- ▽食料品など物価が上昇しているため、食料金の改善を強く希望する

-九州関門地方支部管内-

【大型カーフェリー部門】

- ▽甲板部は船長水先慰労金の改善、事務部分社化会社は有給休暇の改善をお願いする

【水産部門】

- ▽コロナ禍で厳しい状況だが、労働環境の改善と年間臨時手当が安定的に支給されるよう頑張ってもらいたい

【港湾部門】

- ▽コロナ禍により取り扱い隻数も回復せず、さらに燃料油価格も高騰し経営側には厳しい状況であることは認識しているが、いかなる状況でも毎年の積み重ねにより、段階的に労働諸条件の改善が図れるよう最善を尽くしてほしい